■ロッドラックのフィッティング・ポジションと実際例

通常トローリングに使用するロッド&リールの本数は $3\sim5$ 本。ランクやタイプ別に $1\sim5$ 本予備を加えたとして、トータルして $6\sim10$ 本です。

通常トローリング(ビッグゲーム) に使用するロッド&リール

その他のタイプ、および予備としてのロッド&リール

20Lbsクラスのロッド&リール …2本| ライトタックル用として、 30Lbs / …3本| 合計5本。

他にも、いろいろな組み合わせが考えられますが、オーソドック

ロッドラックのフィッティング・ポジションの

3 point

- **2** 強度をよく考えて、ロッド&リールの重量に十分耐えるような場所にセットします。
- 🚺 航行や離・着岸の際などに、邪魔にならない位置にセットします。

スな組み合わせは、以上のような内容です。ロッド&リールはできるだけたくさんボートに積んでおいて、対象魚によって使い分けた方がよいでしょう。

カジキを狙っていても、カツオの群れなどに出会ったら、ライトタックルに装備を替え、スポーツ感覚を重視してフィッシングは楽しみたい…!したがって、その収納場所が問題になってきます。上記のフィッティング・ポジションの3要素を基本として、下記では実際のフィッシングボートでのフィッティング例を考えてみました。



このタイプは、本格的なビッグゲーム 用フィッシング・ボートの例です。アフターデッキ・ロッドラックが両舷にそれぞれ2基ずつあります。デッキより 手の届く範囲に装備されているため、合計4本のロッドが整理でき、この位置ならクルーが左右に走り回ることなく、スムーズにプレイすることが可能です。

さらに、フライングブリッジには、専用の4連のロッドラックがあり、ビッグゲームからライトトローリングまで、多種類のロッドをいつでも使用可能な状態で、収納しておくことができます。 タワー、アウトリガー、フライング・ロッドラック、アフターデッキ・ロッドラックの4点をアルミ製のパイプで装備して、さらに全てをシルバーアルマイト色で仕上げているので、機能性はもとより外見も非常に美しいものになっています。



このボートもビッグゲーム用フィッシングボートの例です。アフターデッキ・ロッドラックは、サイドハンドレールを利用して、両舷に2基ずつ。フライングブリッジのパルピットを利用してホルダーが2本、いずれもポールタイプホルダーでセットされています。トローリングで5本ルアーを流していて、ストライクがあった場合、他の4本を素早く整理できるように、ロッドホルダーの位置が考えられています。さらに2本分のスペアーのホルダーがあるので、非常に余裕のある装備になっています。



キャビン後方の両サイド壁面にアフターデッキ・ロッドラックを装備し、2本のロッドが重なり合わないように、ポールホルダーの位置を微妙にズラしてあります。さらに、手摺パイプに係船索をセットする様子はさすがです。



フライングブリッジへのステップを利用したロッドラック例です。外側通路側にセットしてあり、ステップの昇降時も邪魔になりません。実際にロッドをセットしてみると、下段のホルダーは気になりますが、上段のホルダーは非常によいポジションといえます。



カディフィッシャーボートのロッドラックとして 良いまとまりを位置している例です。このセット 位置ならば、全てデッキから手の届く場所であり、 パイプクランプしている方向は、強度的にも最も 強いフィッティングです。



■ TACO METALS アルミニュームパイプ (輸入品)

表面をバフで仕上げ、アルマイト処理した光沢のあるアメリカから直輸入したハイグレードなアルミニュームパイプです。ツナタワー、Tトップ、レーダーアーチ、パルピット他、様々な用途でご利用ください。

●TACO アルミニュールパイプ 会長7m

●「ACO アルミーユームハイフ 主長/m 単位: mm				
	パイプ外径	肉厚	パイプ外径	肉厚
	φ21.34	2.77mm	φ42.16	3.56mm
	φ26.67	2.87mm	φ48.26	3.68mm
	φ33.48	3.20mm	φ60.33	3.90mm